2013 年 8 月 21 日

「ルミキシル」ユーザーの皆様へ

「ルミキシル」と「カネボウ・ロドデノール配合製品」の違いについて

平素は当社のルミキシルをご使用頂きまして誠に有難うございます。

この度、ユーザーの皆様から多数お問い合わせを頂いております、日本で問題になっているカネボウのロドデノール配合製品とルミキシルとの違いについてご説明させて頂きます。カネボウではロドデノールの作用機序が、チロシナーゼに対する競合的阻害作用にあると考えているようです。一方 2006 年に発表された”Melanogenesis Inhibitory and Free Radical Scavenging Activities of Diarylheptanoids and Other Phenolic Compounds from the Bark of Acer nikoense”という論文で、ロドデノールの強いメラニン形成抑制作用はその細胞毒性（メラニン産生細胞殺傷作用）にあると記述されています。即ち、ロドデノールは局所に塗布した際、ヒトのメラニン細胞も破壊し、肌に白斑を発生させるという仮説を立てることができます。

一方で、ルミキシルに配合されているデカペプチド-12 のチロシナーゼに対する競合的阻害作用は、**正常なヒトのメラニン細胞を破壊することなく**、ハイドロキノンよりも 17 倍高い有効性があることが証明されています。このことは”Short-Sequence Oligopeptides with Inhibitory Activity against Mushroom and Human Tyrosinase”という論文で論述されています。更に、推奨の濃度(0.01%)とその 10 倍の濃度(0.1%)で行われたヒト連続パッチテスト(臨床的安全性試験)において、デカペプチド-12 は肌に炎症や脱色素斑を引き起こさない事が証明されています。事実、発表されている 4 つの臨床研究では、ルミキシルは顔面の過度の色素沈着に対して安全かつ有効であり、白斑を生じないことが明らかにされています。更に、2009 年のルミキシル販売開始以来、アメリカや世界 35 カ国以上の顧客から、脱色素斑を起こしたとの苦情を受けたことは**一度もありません**。結論として、ルミキシルは、その有効性や安全性の臨床データに裏付けされているように、安全な製品であり、かつ通常の使用において白斑を引き起こすことはないと考えられます。

これまでの実績からルミキシル使用における高い安全性が認められておりますので、今後とも安心してルミキシルをご愛用頂ければ幸いに存じます。何かご不明な点などございましたらお問い合わせ頂ければ幸いです。

Felipe Jimenez, Ph.D.

Chief Scientific Officer

ルミキシル製造元 Envy Medical, Inc.

ルミキシル販売元
PRSS.Japan 株式会社

PRSS.Japan